

## 熊谷税務署長賞

税金について考える

妻沼町立小島中学校 三年 長島 絵梨

私は、今まで税金について深く考えたことがありませんでした。しかし、こうして税金について考えてみると、税金の存在はとても大きいと思います。税金は、私達が払っている消費税もその一つです。日本では、五パーセントですが国によっては、日本よりもはるかに高い国があることを知りました。なぜ、国によって消費税が違うのかなあ、と疑問に思いました。それから、税金は国や私達の生活を支えています。私達は、そのために税金を納めるのだと思います。税金を払うことも使われることも、とても重要なことなのに、なぜ税金に関するニュースなどに関心を持つ人がいないのか、と思いました。でも、実際私も、税金について興味をもったことはありません。普段、ニュースなどで身近な所から税金に関することが、耳に入っているものの、わかりにくいなどというイメージがわいてしまい、なかなか税金について興味が持てませんでした。しかし、私達が税金について関心を持つことで、今の生活よりもさらに良くしていけると思いました。

現代の税金は、私達が毎日健康でより快適な暮らしをするために、必要なことだと思うし、とても大切なものです。少し、身の回りを見てみると税金によって造られたものが、たくさんあります。例えば、病院や図書館などの公共施設、道路などです。それから、私達が毎日学校へ行くための、教育費では、かなりの税金が使われていると思います。もっと、私達は税金についてきちんと自覚を持たなければならないと思います。それから、前にも述べた「消費税」のことですが、高齢化が原因で消費税が導入された、ということは初めて知りました。それも、高齢化問題の対策の一つが消費税なのだそうです。現在の消費税率は、日本は少ないほうだと思います。特に、スウェーデンの消費税率は二十五パーセントで、日本の五倍にもなります。消費税を払うことで、みんなで公平に広く負担し合えるので、とても良い方法だと思いました。もし、この世の中に税金、というものが存在しなかったら、どうなるのでしょうか。きっと、毎日安心して暮らすことはできないと思うし、様々な面でのサービスを受けることができないと思います。今回、税金について考えてみて、税金が身近な所で活かされていることや、税金の大切さについて改めて知ることができました。日本での少子高齢化問題を少しずつ防ぐために、消費税はとても大切な存在であると思いました。だから、私が大人になったら、税金をしっかりと払ってこの世の中が少しずつでもよいから、良い方向へと変わっていくといいなあ、と思います。